

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

## 大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和8年3月28日(土)

要事前申込  
(詳細裏面)

# 大倉邦彦 国民の良心の扉を開かん －大正15年のヨーロッパ視察と大倉山記念館館内見学－

関東大震災の余韻もさめやらぬ大正14年(1925)の春、大倉洋紙店(現：新生紙パルプ商事株式会社)の三代目社長であった大倉邦彦(1882~1971)は、「国民の良心の扉」を開きたいとの使命感に燃え、私財を投じて精神文化図書館の創立を構想します。これが、現在も続く大倉精神文化研究所のはじまりでした。

今日は座学と  
館内見学です

大倉邦彦は図書館創立には「慎重な考慮と充分な研究」が必要であるとして、欧米諸国の図書館事業と宗教界教育界の視察に向かうこととします。それが、ちょうど百年前の大正15年(1926)3月のことでした。当研究所には、その時のパスポートをはじめ、現地で撮影した写真や関係者とやり取りした手紙などが多数残っています。そこで本講演では、研究所が所蔵する関連する資料を通して、大倉邦彦がヨーロッパでどのような人物と出会い、どのような物を見聞してきたのかを紹介します。そのうえで、研究所創立にどのような影響を与えたのか考えてみます。なお座学の後には、研究員が横浜市大倉山記念館(大倉精神文化研究所本館)の館内をご案内いたします。

◇時間：講演：午後2時～3時(開場予定は午後1時40分)

館内見学：午後3時～3時30分(予定)

◇会場：横浜市大倉山記念館 第4集会室

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内

(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：星原 大輔(大倉精神文化研究所研究部長)

◇定員：30名(入場無料、要申込・先着順) ◇申込方法：詳細は裏面



次回予告 4月18日(土) 大倉山講演会  
師：長谷川 琢哉(東洋大学教授)

井上円了の世界旅行—海外視察と巡回講演— 講

# 大倉山講演会 令和8年第1回 申込書

ご提供いただいた個人情報は、講演会への参加確認、並びに延期・中止が決定した場合のご通知のためにのみ利用させていただきます。なお、本講演会の終了後、速やかに廃棄いたします。

- ① **メール** 「参加をご希望される日にち」と「ご氏名（よみがな）」を、下記のアドレスに送る

**okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp**



こちらから、メールアドレスを読み取れます。

- ② **FAX** 下記の「ご氏名（よみがな）」と「ご連絡先」を記入して、本紙を送る(045-542-0051)

ご氏名（よみがな） 複数名の場合は全員の氏名をご記入ください

ご連絡先 複数名の場合は代表者のみをご記入ください

- ③ **Google フォーム** 下記のQRコードを読み取り、必要事項を入力する



大倉精神文化研究所が主催する各イベントの情報をメールでお届けします。受信をご希望される方は、右のQRコードからご登録ください。（後日、自由に解除することができます）

